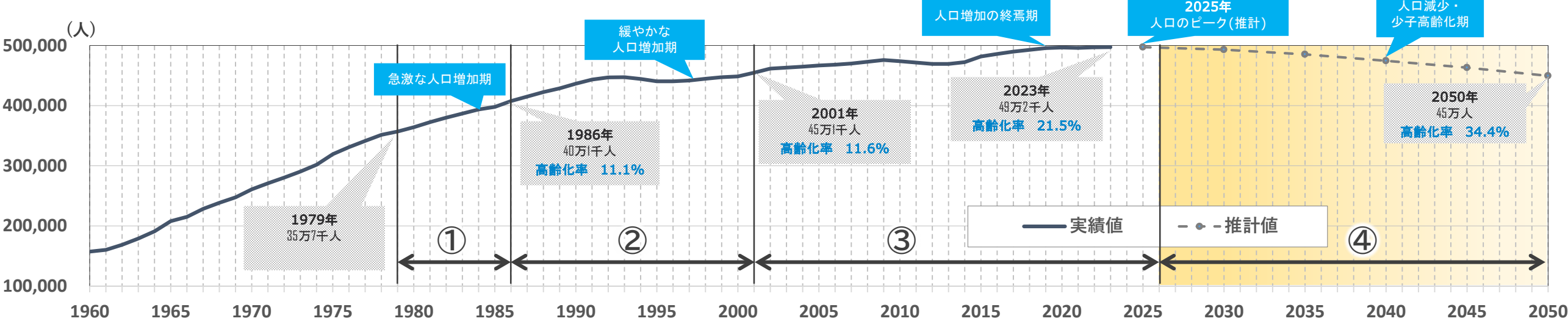


		S54(1979)年～ 【①】	S61(1986)年～ 【②】	H13(2001)年～ 【③】	R8(2026)年～ 【④】
基本構想	名称	市川市総合計画	市川市総合計画 「ｸﾘｰﾝ・ｸﾞﾘｰﾝ・ﾊｰﾓﾆｰ-いちかわ21」	市川市総合計画 「I&Iプラン21」	市川市総合計画
	計画期間	7年間	15年間 (21世紀初頭を展望)	25年間 (21世紀の第1・四半世紀を展望)	25年間 (2050年を展望)
	策定時の時代背景	○人口急増、急激な都市化の進展 ○生活環境整備の遅れによる交通事情の悪化、公害の発生、自然環境の破壊等の「都市問題」など	○バブル経済期(1986～1991年頃) ○公害対策の必要性の高まり ○物質的な豊かさを求める傾向 ○高齢化(人生80年時代)、生涯学習、情報化(パソコンの普及)、国際化への関心の高まり など	○人口、経済とも右肩上がり終焉 ○温暖化、オゾン層の破壊など、地球規模での環境問題の顕在化 ○成熟社会を迎え、ゆとりや潤いを求める価値観への変化 ○インターネットや携帯電話の急速な普及 ○青少年による凶悪犯罪の多発 ○地方分権一括法の施行(2000年) など	○人口減少、少子高齢化の進行 ○地球環境問題の深刻化(地球温暖化、海洋汚染 等) ○安全・安心に対する意識の高まり (大規模地震、国際情勢の不安定化、特殊詐欺 等) ○価値観、ライフスタイルの多様化 (グローバル化、情報化、ダイバーシティの進展 等) ○経済成長の鈍化 (国際情勢に伴う物価高騰、格差拡大 等) ○都市インフラの老朽化 ○地域コミュニティの希薄化 ○健康への意識の高まり など
	基本理念	「人間尊重」を基調とし、 「市民自治」「市民生活優先」	(前構想から不変)	「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」	
	将来都市像	「歴史と伝統をうけつぎ、 清潔で美しい暮らしよい街」	「住みよい文化都市」	「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」	キーワード
	基本目標	(施策の大綱) ○生活環境の整備 ○社会福祉の増進 ○学校教育の充実 ○社会教育・市民文化の新興 ○都市基盤の整備と産業の振興 ○計画行政の推進	I 自然と文化が息づくまち II 豊かに暮らせるまち III 快適で安全なまち IV まちをつくり続ける	1. 真の豊かさを感じるまち 2. 暮らしの中に文化を育むまち 3. 安全で快適な魅力あるまち 4. 人と自然が共生するまち 5. 市民と行政がともに築くまち	25年後に向けた、各専門分野の目標等について、 ご意見をいただきたい。 ● ● ● ●

【参考】総人口の推移・将来推計(常住人口ベース)



資料：令和5年度版市川市統計年鑑・千葉県年齢別・丁町字別人口、令和3年度市川市将来人口推計(基準値維持モデル)